



施策（4-⑤） 生涯を通じたスポーツ活動の推進

目指す姿

○区民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができる環境の整備、充実を図り、スポーツを通じて人と地域がいきいきと輝いている。

取組方針

スポーツが身近にある社会づくり

区民のスポーツ実施率は近年上昇傾向にあります。年代やライフステージによる実施率の差が生じているため、生涯を通じて誰もがスポーツに親しむことができる機会の充実が求められています。

競技性のスポーツだけでなく日常生活における運動も含め、誰もが多様な形でスポーツに親しむ機会を充実させていくことが必要です。

スポーツで誰もが輝く社会づくり

コロナ禍の影響により、外出やスポーツ実施機会の減少による体力低下の傾向が見られ、年齢、性別、障害の有無などに関わらずスポーツに親しめる機会が求められています。

子どもから高齢者、そして障害者も、誰もがスポーツを通じて夢を抱いたり、いきいきと生活できる環境を整えていくことが必要です。

スポーツの実施機会の充実と環境整備による健康で豊かな生活の実現

- 区民の誰もが気軽にスポーツに親しむことができるようスポーツ関連団体、民間事業者との連携を深めながら、大会、体験イベントなどの事業を幅広く展開することで、スポーツに参加する機会の拡充を図り、生涯を通じたスポーツ活動を促進します。
- 児童の体育施設使用料の免除など、スポーツ実施環境の基盤となる区立体育施設の充実や利用促進を図るとともに、学校施設や公園などの区立施設を有効に活用します。子どもから大人まで幅広い世代に対して、普段の生活のなかで多様な形でスポーツに親しむことができることを普及啓発します。
- アーバンスポーツの普及、学校部活動の地域移行など、多様化するスポーツの姿や実施形式を的確に捉えつつ、孤立を防ぐ居場所(サードプレイス)など様々な形でのスポーツを楽しめる場を提供します。

子どもから高齢者、障害者がスポーツに親しめる機会の充実

- トップアスリートとの交流の機会を創出するなど、次世代を担う子どもたちがスポーツを通じて夢を抱き、豊かな未来を築ききっかけとなる機会を充実させます。
- パラスポーツの普及やインクルーシブスポーツの体験機会の充実により、障害を持つ方であってもスポーツを通じていきいきと生活できる環境を整え、スポーツによる地域交流の促進と、人と人が結びつく持続可能な社会の実現を目指します。
- 誰もがいつまでも健康で活力に満ちた生活を営むため、子どもたちのマルチスポーツ体験などを促進し、運動習慣の定着を図ります。また、フレイル対策において最新技術を用いたスポーツを活用するなど、人と社会のつながりを築きます。

【施策の効果を表す代表的な指標】

施策の効果を表す代表的な指標は資料 9 - 2 のとおり